

## Message

今、社会は大きな変革の時代を迎えようとしています。18世紀末、イギリスで起こった産業革命によって人々は社会や経済のパラダイムシフトを経験しましたが、今回の変革は「デジタル・ディスラプション」、すなわちデジタルテクノロジーによる破壊的イノベーションと呼ばれています。

一般にDX(デジタルトランスフォーメーション)と言いますが、デジタルテクノロジーによって、私たちの社会やビジネス、日常生活に至るまでのあらゆる事象において、「効率化」というキーワードのもと、破壊的な構造転換が行われることを意味します。

私たちはこうした時代に直面しており、誰もがこの社会を避けて生活することはできません。また、この変化は私たち自身にも「変革」を求めています。構造転換後の社会で競争力を維持していくためには、急激に進化するデジタル技術やデータを活用して自ら仕組みを創っていかなくてはならないからです。

変革されゆく社会における自分の将来像、キャリアや就職活動。そのために必要な知識、技能をどのように大学で学ぶのか。学生は自ら考え、選択しなければなりません。本学では、現在の時点考えられる限りのプログラムを用意して学生の皆さんを待っています。

これから時代は大きく変わりますが、一方で、本学が長い歴史のなかで培ってきた「社会や人間」に対する理解は揺らぐことはありません。

「生涯学び続ける人となる」を教育目標のひとつに掲げる本学の教育ビジョンにご理解・ご賛同いただき、今後の「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」にご期待ください。

—大正大学100年—

### 新共生主義による 〈人材育成ビジョン〉

思いやりの「心」  
かたよらない「心」を育み  
真実を求めて  
認め合い、支え合って生きる

共生主義(ともいき運動)は本学の学長を務めた椎尾弁匡博士が提唱し、実践されました。これに由来する「新共生主義」は、これからの時代、人類が永遠であるために、とても重要なメッセージでもあります。



## 大正大学

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1  
TEL.03-5394-3032  
www.tais.ac.jp/

本パンフレットは、文部科学省令和2年度「知識集約型社会を支える人材育成事業」に採択された計画の概要を、多くの教育関係者の方々に知っていただくための資料として作成されたものです。

文部科学省 令和2年度大学教育再生戦略推進費「知識集約型社会を支える人材育成事業」

## 新時代の地域のあり方を構想する 地域戦略人材育成事業

全学で取り組む先進的教育改革への挑戦



- P1 知識集約型社会とは何か?
- P3 地域戦略人材育成プログラムの特徴
- P5 Society5.0の時代を生き抜く“文系大学の”先端的カリキュラム
- P7 データサイエンスの学び
- P9 時代や社会の変化に即応する教育プログラム

## 新教育ビジョンと 知識集約型社会を支える人材育成事業について

知識集約型社会とは、「デジタルによる『社会革新』により、データの持つ価値が格段に向上し、社会構造までもが(モノからコトへ)大転換する社会」を言います(こうした時代を日本ではSociety5.0と名付けています)。

本学は、この変革の時代を支える人材の育成を行うにあたって、①自ら「問い」をたて、まずは幅広い知識と教養を身につけるための学習を行い、②これからのデジタル革命と言われる社会に向けて、自らがデータを収集・分析・利活用できる基礎的スキルを磨き、③それらを統合・調整して「課題解決」のプランを練り、④こうした探究学習を繰り返しながら、学生が自律的に成長していくプログラムを開発しました。

### 新共生主義

多様な価値を認め合い、支えあって生きることができる社会の実現

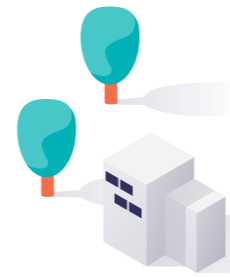
# SOCIETY 5.0

### 地域人スピリット

地域に生まれ、地域で生活する私たち。「地域」は私たちの地理的、物理的、精神的基盤でもあります。近い将来、社会がデジタル化され、人々の生活・営みにも変化の波が押し寄せ、ただ効率化・合理化のみを追い求める時代が来ることも予想されます。仮にそうしたことがあれば、求められるのは人間が人間として生きられる社会や人間の本質が失われることがない地域です。地域を愛し、志を持って「新しい時代の地域」を創造する人材、幸せに生きられる地域をつくる人材、そうした人材を、私たちは「地域戦略人材(地域クリエイター)」と呼びます。

### アントレプレナーシップ

これまでの企業の多くは、会社という組織の中で人々が仕事をこなし、活動する形でした。しかしデジタル革命によって、社会全体の構造転換が求められている今、幅広い知識、能力、デジタル技術によって仕事をし、他人と比較され、評価される「DX(デジタル・トランスフォーメーション)」時代が迫っています。こうした21世紀型のビジネス社会の中で生き残っていくための武器は、自らが新しい価値を創造する「アントレプレナーシップ」です。本学では、これからの時代の「価値創造スキル」を磨き上げるアントレプレナー養成プログラムを大学2～4年次に履修可能な選択制の特別プログラムとして用意しました。



AIやIoT(Internet of Things:あらゆるモノがネットワークを通してつながる技術)、ロボットが活躍する時代が間近に迫っています。日々の生活や仕事など、社会のすべてが効率化され、最適な環境が生み出される“超スマート社会”を、わが国では「Society5.0」と呼んでいます。ビジネスや社会活動のあり方だけでなく、日々の暮らしや文化、習慣までもが先端技術の進化と台頭により、大きな変革を余儀なくされる時代。決して遠くないその時代に合わせて、私たちも考え方やスキルを大きく進化させなくてはならないのです。

いま社会は  
デジタルテクノロジーによって  
大きな変革期を  
迎えようとしています

本学では、文部科学省の事業採択を受けた教育カリキュラム「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」を2020年12月からスタートしました

Society5.0の到来を目前にして、新しい時代に適合し、社会を牽引する人材の育成が急務とされています。そこで本学では、幅広い教養・先端技術への理解を基盤としながら、新しい価値を創造する力を兼ね備えた「地域戦略人材(地域クリエイター)」を育成する教育事業をスタート。首都圏から地方都市まで、日本の未来を支える人材を育成します。

## 地域戦略人材(地域クリエイター)の育成と活躍の場

### <新カリキュラムが育む3つの力>

- I 幅広い学融合の知識や創造力
- II 変化に対応する力
- III 異分野間ネットワーク形成のリーダーとなるためのコミュニケーション力

アントレプレナーシップ養成

これからの社会や地域の「価値」をクリエイトする

新リーダー像

### <新時代に必要能力>

地域クリエイターとして活躍するあなたのために

多様な人材とのネットワーク形成スキルの養成

多様な価値観を調整するスキルの養成

地域で

企業で

創業して

自己実現

## 幅広い教養

### 前期共通教育

人間と社会との関わり・ものの見方・考え方・価値観などを総合的に学ぶことにより、生涯学び続ける意義を自覚し、社会や時代の変化に対応できる能力を身につけるための教育活動を展開します。

## 深い専門性

### 学部・学科の学び

自身が所属する学部・学科の専門科目の学びを基礎に、異なる複数の分野の専門知を融合させ、新しい発想を生み出すことのできる知的能力を開発します。

## 地域戦略人材

(地域クリエイター)

社会の課題を解決し、地域や企業、ビジネスの現場に「新しい価値」を創造する人

## 文理融合

### 後期共通科目

地域とは固有の自然・環境・歴史・伝統文化をもち、政治・行政などが完結した存在です。そうした地域が集って国家が形成されています。今、ネットワークの時代、そして新たな地域創生に入って行く時代だからこそ、地域課題の解決に必要な知識を文理融合、文理横断的に学び、都市部も含めたあらゆる地域において行政・サービス・起業などの分野で新しい価値を生み出す人材(地域クリエイター)を育成します。

## D A C

学生一人ひとりを応援する全学横断的な学修サポート組織

総合学修支援機構 D A C

- D : ダイバーシティ (Diversity)
- A : エージェンシー (Agency)
- C : コミュニティ (Community)

各学部のハブとなる全学部横断型の学修サポート組織であり、本事業の司令塔となる存在です。全学共通教育の開発やチュートリアル教育を担うだけでなく、学びの成果を可視化する「DAC e-ポートフォリオ」などを開発し、学生一人ひとりの主体的な学びと成長を実現するためのサポートを行います。

## プログラムを支える本学ならではのポイント

POINT

1

### チュートリアル教育



「総合学修支援機構DAC」が全学共通教育実施の司令塔として担当教員を束ね、全学生の学修をサポート。多様な能力を持つ多くのチューターによってきめ細やかな学修サポート活動を行います。

POINT

2

### すかもオールキャンパス構想



巣鴨駅から大学までの約2kmを「すかも街なかキャンパス」として、学生の実践的な学びを推進する施設を設置し、アントレプレナー養成の応用・実践的科目を開講します。キャンパスが巣鴨の街と一体化し、大きな「学びの場」「集いの場」となります。

POINT

3

### 産学協創・地学連携



地域や地方自治体との連携はもちろんのこと、日本を代表する多くの企業・団体と連携し、インターンシップやフィールドワークをはじめとした実践的な学びの環境を数多く実現します。

## 文部科学省

### 令和2年度「知識集約型社会を支える人材育成事業」 本事業の審査評価について

事業採択の審査において、本プロジェクトが獲得した評価を以下に抜粋します

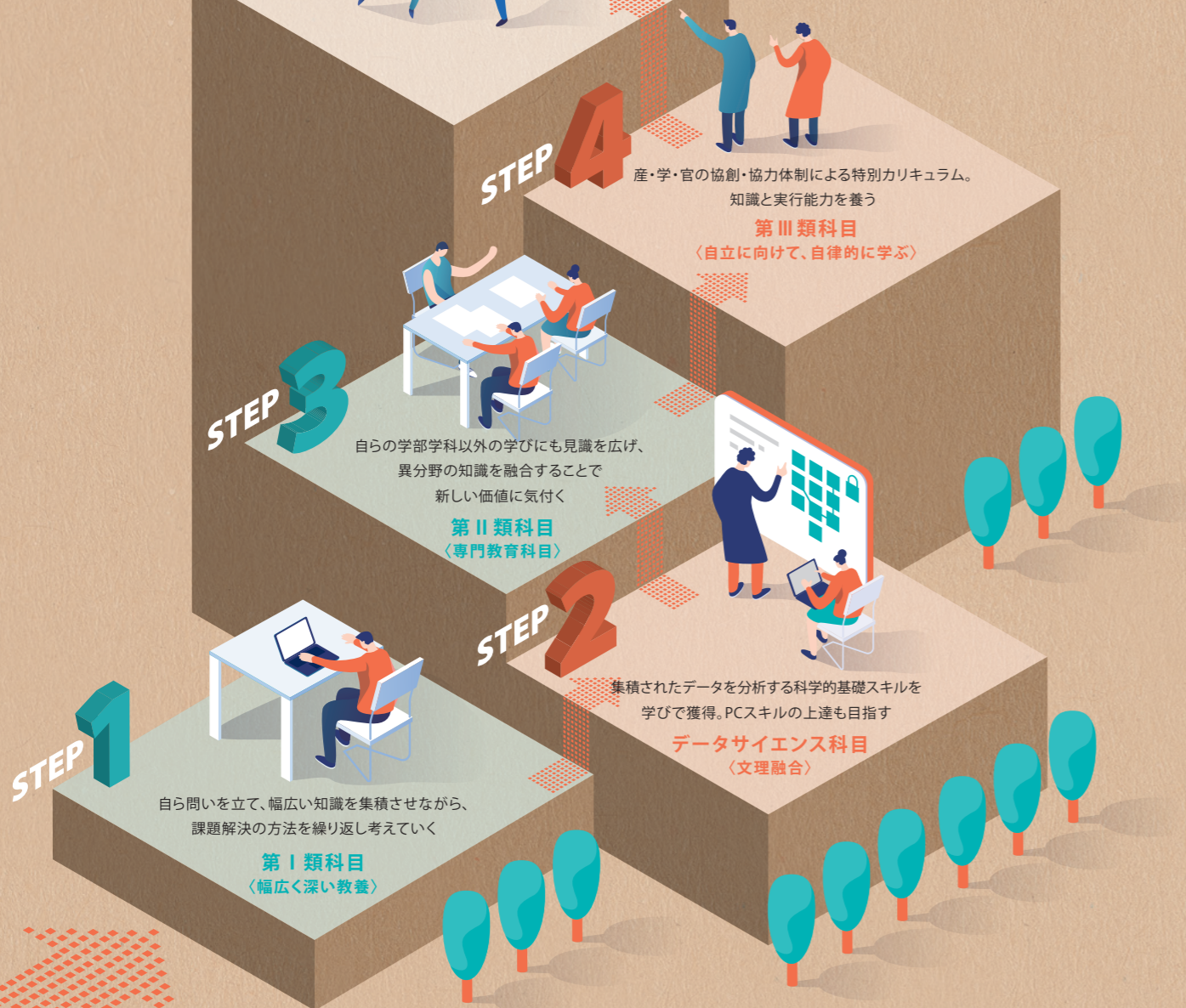
本事業計画は、社会が直面する課題を踏まえ、大学が社会・地域に果たすべき役割や人材育成を明確に設定しながら当該大学が進められてきた「地域人材育成」を柱とする取組を基に、これまでの地方自治体や企業等との社会連携の実績を活かした地域連携型教育に加え、アントレプレナーシップ、データサイエンス教育などを全学へと展開するものとなっている。また、教育組織と事務組織を統合する学内第三の組織である「総合学修支援機構DAC」をハブとして既存の学内の各組織を有機的に連携させ、教育及び学生支援体制の基盤を確立するとともに社会とのインタラクションを活発化することとしている。大学を挙げて構築する実施体制により、全学生を対象とする教育プログラムの構築を目指す本事業計画の着実な実施が期待できる。

また、全学展開を行う上で課題となる入学目的の異なる学修者への動機付けや伴走体制、文系学生を念頭に学修者の苦手意識の克服・リテラシー向上を重視したデータサイエンス・理数系教育の工夫は、本教育プログラムにおける学修目標を達成するための方策として評価できるものであり、将来的にそのノウハウは中小規模大学の取り組みとして共有すべきモデルともなりうるものと考えられる。さらに、学生の学修支援・メンタリングに従事するチューターについて独自の養成プログラムを開発し、約100名を養成・配置する体制づくり、チューターと教員の協働による学修支援、教員の資質・能力を継続的に養成・開発、向上していく視点は、本教育プログラム全体の持続可能性につながるものである。チューター養成システムの公表等も企図されており、取組成果の他大学への波及が期待できる。



## 4年間の学びのプロセスを経て、 自己実現への一歩を踏み出す!

より良い社会、幸せに生きられる地域のために  
「0」から「1」を生む気概で学んで  
私たちの未来を描き出していきます



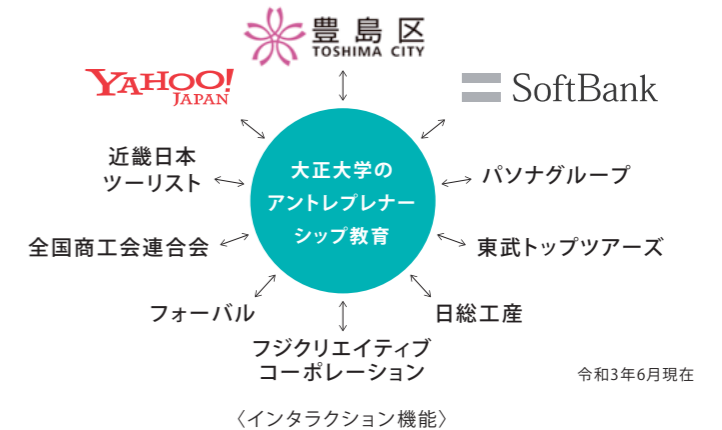
## 確かな成長を段階的に実現するカリキュラム構成

共通・教養科目を「第Ⅰ類」、専門科目を「第Ⅱ類」、アントレプレナーシップ関係科目等を「第Ⅲ類」とし、「第Ⅰ類」では1～2年次にデータサイエンスの基礎知識と生涯学び続ける姿勢を培う教養教育・学融合型教育を展開します。2年次より学融合ゼミナールやアントレプレナーシップ教育など、より実践的な学びを行い、学部学科で学んだ専門知識と合わせて実社会に应用する力を育みます。

	1年生	2年生	3年生	4年生											
前期共通教育科目 (第Ⅰ類科目)	<b>データサイエンス教育(計6単位必修)</b>  PCスキル (新学習指導要領と連動したカリキュラム編成)	<b>数学・統計学の基礎</b> ● 社会の課題解決を意識したデータ分析・検証 ● ビジュアル分析プラットフォーム「Tableau」を活用した課題解決学修	社会・地域の課題発見力と解決力の育成 ① 社会・地域を統計学的視点で分析する力をつける ② 人間の生活・文化のあり様をマクロ・ミクロの視点から見つめ、課題を発見する力をつける ③ 蓄積されたデータを可視化し、そこから課題解決に向けた意思決定を行う能力を磨く												
	<b>幅広い知識と学融合型教育(計21単位必修)</b> ① 人間の探究(6単位) 例) 学び方とリベラルアーツ 他 ② 社会の探究(6単位) 例) 共生社会論 他 ③ 自然の探究(6単位) 例) 地球サステナビリティ 他	リーダーシップ(3単位必修)													
後期共通教育科目 (第Ⅲ類科目)		<b>アントレプレナーシップ教育(計24単位選択)</b> 履修モデル(選択)による育成する人材毎のカリキュラム(知識・技能・応用・実践)		履修モデル(選択)による人材育成像 A. 地域戦略人材 B. 企業内リーダーシップ人材 C. 起業人材											
		<table border="1"> <tr> <td>基礎科目群</td> <td>3科目6単位必修</td> <td>独自性・独創性をもつ態度・姿勢の養成 Society5.0時代に対応し、本学の教育理念に基づいた人間の生き方を学ぶ科目</td> </tr> <tr> <td>分野</td> <td>12単位選択</td> <td>デジタルスキル(データ分析・プログラミングなど) 対人スキル(コミュニケーション・リーダーシップなど)</td> </tr> <tr> <td>実践・応用</td> <td>6単位選択必修</td> <td>地学連携、産学協創によるフィールド学修</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>24単位</td> <td></td> </tr> </table>	基礎科目群		3科目6単位必修	独自性・独創性をもつ態度・姿勢の養成 Society5.0時代に対応し、本学の教育理念に基づいた人間の生き方を学ぶ科目	分野	12単位選択	デジタルスキル(データ分析・プログラミングなど) 対人スキル(コミュニケーション・リーダーシップなど)	実践・応用	6単位選択必修	地学連携、産学協創によるフィールド学修	合計	24単位	
基礎科目群	3科目6単位必修	独自性・独創性をもつ態度・姿勢の養成 Society5.0時代に対応し、本学の教育理念に基づいた人間の生き方を学ぶ科目													
分野	12単位選択	デジタルスキル(データ分析・プログラミングなど) 対人スキル(コミュニケーション・リーダーシップなど)													
実践・応用	6単位選択必修	地学連携、産学協創によるフィールド学修													
合計	24単位														
専門教育科目 (第Ⅱ類科目)	<b>学部・学科の専門教育科目+学融合(クロスディシプリン)教育(計4単位必修)</b> 〈学修の成果〉① 各自の専門分野の知識の幅が広まる ② 汎用的能力が高まり、実践知に应用できる			学んだ知識を集約し 卒業論文・卒業研究に活用											

### 産官学の協創的「人材育成」

アントレプレナーシップ育成プログラムでは、インターンシップ、フィールドワークが必須です。本学がこれまで関係性を築いてきた企業・団体・地方自治体の協力を得て、実践的プログラムを実施します。特に巣鴨のまちづくりをテーマとした学修は、豊島区と連携して実施します。自治体や企業との長年にわたる連携体制をベースに、現場で実務に取り組む人々と協力しながら学ぶ機会を実現します。大学だけでなく、社会や企業と共に新しい時代の人材育成に取り組めます。



誰もがデータをもとに学び、考え、行動するDX※時代となる

※DX:デジタルトランスフォーメーション  
IT技術の活用によって、社会構造や企業活動、ビジネスモデルなどを変革し、人々の生活をより良い方向に変化させること。



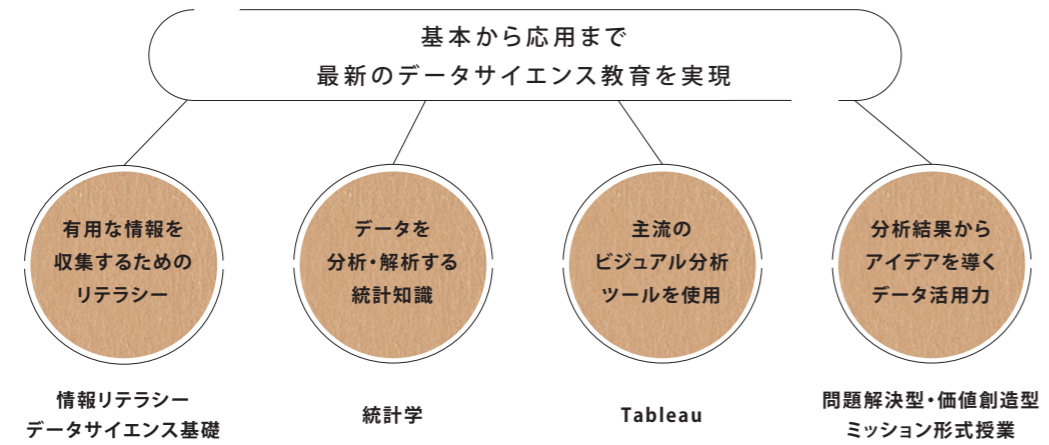
将来の夢  
ビッグデータやAIを活用し企業価値を高めるアイデアを発見し、貢献する

将来の夢  
データサイエンスを活用して新ビジネスを展開

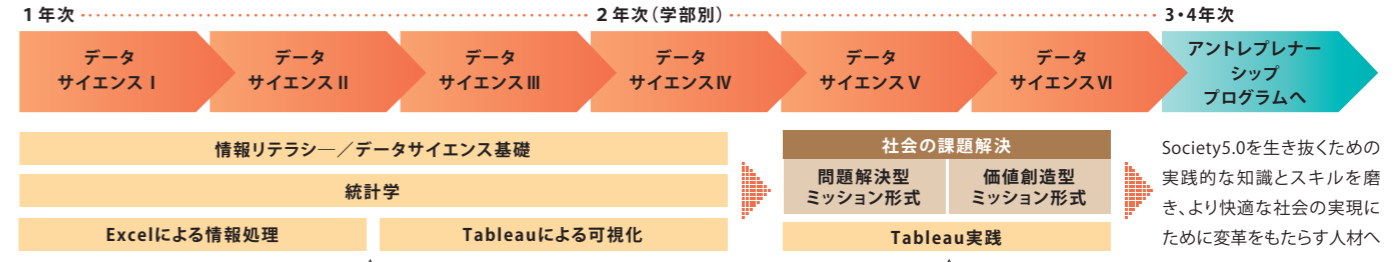
将来の夢  
オープンデータを活用して、コンサルタントとして社会や市場の課題解決策を探究

将来の夢  
多様な企業・機関と協調しオープンイノベーションに挑戦

Society5.0の時代に求められるデータサイエンスの4つの能力獲得を目指します



苦手意識も克服できる文系学生のためのデータサイエンスのカリキュラム



チュートリアル教育と総合学修支援

授業ごとに2名の教員に加え、本学独自の養成講座によって育成・採用した質の高いチューター、身近な存在で相談しやすい先輩学生が務めるSA(スチューデント・アシスタント)によるチームで、学生一人ひとりの学修をフルサポート。授業終了後の質問や相談についても随時受け付けています。



企業や地域との連携で実践的な学びを実現(ひとつの事例)

本事業の特徴のひとつである企業や地域との連携による実践的な学修環境の実現は、データサイエンスの学びにおいても同様です。「三鷹市」、「株式会社サイゼリヤ」、「ニューラルポケット株式会社」と連携して、企業等の実データを活かした学びを実施。企業や自治体への提案を学生自らが行うことにより、社会の課題解決策を実践的に学修します。



理系科目が苦手でもデータサイエンスは身につく?



数学や情報分野に苦手意識のある人でも、決して不安になることはありません。本事業のデータサイエンス教育は、「文系学生向け」として丁寧な反復学修をもとに社会で生きる論理的思考力が身につくように設計されています。

文系学生でも苦手意識を克服して学べる仕組み

- 学長が所長を兼任する「データサイエンス教育ラボラトリー」を開設。学内外の識者を招聘して、文系大学における数理教育のあり方を研究し、カリキュラムに援用します。
- グラフや図表の読解とその言語化を反復して学修。苦手意識を克服した上で、統計の基本的知識や課題解決のためのデータ活用について学びます。
- 数学/統計学の教員と企業出身の実務家教員が協働して教材を開発。わかりやすい具体例を用いた反復学修と丁寧な解説による授業を実施します。
- データを可視化して分析するためのツール「Tableau」の講座を展開します。

新たに学ぶ 企画・マーケティングとは?

Web解析ツールやマーケティングデータなどから得られるデータ情報に基づき、企画立案や経営戦略などを学ぶことができます。企業におけるマーケティング部門の業務・役割を学びます。



時代や社会の変化に  
即応する教育プログラム

1926年に誕生した本学は、2026年に創立100周年を迎えます。  
時代と共に歩んできた本学はこれを契機として、  
文理横断・学融合教育によって知識集約型と呼ばれる時代を  
生き抜く力強い人材を育成することを誓います。

人類共通の課題解決目標  
SDGs達成目標年度

AIが人類を越える転換点  
(シンギュラリティ(技術特異点))

2045

2030

〈超高齢化社会の到来〉

2026

2022年入学者卒業

創立100周年

入学者の学びの流れ

## デジタルテクノロジー革新の “DX”と呼ばれる社会は どう変わっていくのか

〈デジタル革命により働き方・暮らし方に急激な変化が〉

Society5.0 超スマート社会へ  
(AI、IoT、ロボットの台頭)

経済産業省「2025年の崖」  
DXによる社会変革が加速

アフターコロナに向けて  
時代の希望

想定される深刻な経済不況

コロナ禍による  
教育活動の展開

2025

アントレプレナーシップ教育

新しい価値を創造する思考・行動能力を身につける

データサイエンス教育(1~2年次)

DXもAIも修得 文系学生ならではの感性と知覚を備えた新時代の人材を養成

文理横断・学融合教育

幅広い知識と教養を身に付け、デジタル化時代を生き抜く武器を持つ

総合学修支援 機構DACにおける学修サポート

DAC e-ポートフォリオ/チューターによる学修支援

2024

第3次マスタープランに基づく  
戦略的教育改革

2023

2022

2021

## 時代と共に革新する 大正大学の教育

文部科学省 令和2年度  
「知識集約型社会を支える人材育成事業」  
年次進行計画